



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年10月31日

上場会社名 株式会社昭和システムエンジニアリング 上場取引所 東
 コード番号 4752 URL <http://www.showa-sys-eng.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 裕一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 五十嵐 真貴 TEL 03-3639-9051
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,400	9.1	420	24.7	427	24.8	293	24.9
2022年3月期第2四半期	3,117	6.4	337	27.2	342	26.5	234	26.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	67.09	—
2022年3月期第2四半期	53.09	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	7,164	4,172	58.2
2022年3月期	7,222	4,013	55.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 4,172百万円 2022年3月期 4,013百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	32.00	32.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	32.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,600	2.2	640	4.4	650	4.5	435	3.6	99.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	4,810,000株	2022年3月期	4,810,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	435,169株	2022年3月期	435,169株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	4,374,831株	2022年3月期2Q	4,424,831株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により経済活動への影響が見られたものの、各種政策の効果もあり、景気は緩やかに持ち直しています。しかしながら新型コロナウイルス感染症の影響、為替相場における円安の進行、ウクライナ情勢、資源価格やサプライチェーンの混乱等、不確定且つ不透明な状況は続くものと考えております。

当社を取り巻く情報サービス産業においては、生産性向上や競争力強化を目的としたデジタルトランスフォーメーション(DX)関連の投資需要は活発で堅調な状況が続いております。

このような環境下、当社は今期からの中期経営計画「+transform 2nd Stage」の4つの基本方針「①DXの推進、②既存ビジネス領域の維持・拡大、③社内デジタル基盤の強化、④人材確保と働き方改革」を着実に遂行し、バイモーダルなDXカンパニー実現に向けた取組みを一層強化してまいりました。

当第2四半期累計期間における受注環境は堅調に推移し、結果、売上高3,400百万円(前年同期比9.1%増)、営業利益420百万円(前年同期比24.7%増)、経常利益427百万円(前年同期比24.8%増)、四半期純利益293百万円(前年同期比24.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ64百万円減少し、3,333百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は99百万円(前年同四半期は267百万円の獲得)となりました。

収入の主な要因は税引前四半期純利益427百万円であり、支出の主な要因は賞与引当金の減少98百万円、売上債権の増加20百万円、未払消費税等の減少11百万円、未払金の減少55百万円、法人税等の支払額129百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は25百万円(前年同四半期は4百万円の使用)となりました。

支出の主な要因は有形及び無形固定資産の取得による支出23百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は139百万円(前年同四半期は127百万円の使用)となりました。これは配当金の支払139百万円によるものであります。

② 財政状態の状況

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は5,758百万円(前事業年度末比45百万円減少)となりました。主な要因は現金及び預金が64百万円減少し、売掛金及び契約資産が20百万円増加したことによります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産は1,406百万円(同12百万円減少)となりました。主な要因はソフトウェア仮勘定が23百万円増加したものの、繰延税金資産が39百万円減少したことによります。

その結果、当第2四半期会計期間末における資産合計は7,164百万円(同57百万円減少)となりました。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は874百万円(同216百万円減少)となりました。主な要因は賞与引当金が98百万円、その他に含めた未払金が54百万円及び未払法人税等が34百万円それぞれ減少したことによります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債は2,118百万円(同0百万円増加)となりました。なお、重要な変動要因はありません。

その結果、当第2四半期会計期間末における負債合計は2,992百万円(同215百万円減少)となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は4,172百万円(同158百万円増加)となりました。これは配当金の支払139百万円による利益剰余金の減少があったものの、四半期純利益293百万円による利益剰余金の増加及びその他有価証券評価差額金4百万円の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期業績予想につきましては、2022年5月12日に発表いたしました業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,997,891	4,933,179
売掛金及び契約資産	777,634	797,992
仕掛品	3,466	1,691
その他	25,170	25,661
流動資産合計	5,804,163	5,758,525
固定資産		
有形固定資産	163,364	159,845
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	4,588	27,613
その他	3,332	3,332
無形固定資産合計	7,920	30,945
投資その他の資産		
繰延税金資産	727,864	687,986
その他	519,133	527,422
投資その他の資産合計	1,246,997	1,215,408
固定資産合計	1,418,282	1,406,199
資産合計	7,222,445	7,164,725
負債の部		
流動負債		
買掛金	253,296	256,348
短期借入金	10,000	10,000
未払法人税等	149,018	114,943
賞与引当金	386,424	288,133
その他	291,874	204,622
流動負債合計	1,090,614	874,048
固定負債		
役員退職慰労未払金	60,973	60,973
退職給付引当金	2,056,943	2,057,519
固定負債合計	2,117,916	2,118,493
負債合計	3,208,530	2,992,541
純資産の部		
株主資本		
資本金	630,500	630,500
資本剰余金	553,700	553,700
利益剰余金	3,123,452	3,276,967
自己株式	△237,938	△237,938
株主資本合計	4,069,714	4,223,229
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	123,579	128,333
土地再評価差額金	△179,378	△179,378
評価・換算差額等合計	△55,799	△51,045
純資産合計	4,013,914	4,172,183
負債純資産合計	7,222,445	7,164,725

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	3,117,672	3,400,288
売上原価	2,566,668	2,768,638
売上総利益	551,003	631,650
販売費及び一般管理費	213,782	211,151
営業利益	337,220	420,498
営業外収益		
受取利息	156	124
受取配当金	3,837	4,923
受取家賃	930	930
受取手数料	308	285
雑収入	239	1,002
営業外収益合計	5,471	7,265
営業外費用		
支払利息	22	23
固定資産除却損	22	—
その他	—	0
営業外費用合計	45	23
経常利益	342,646	427,740
税引前四半期純利益	342,646	427,740
法人税、住民税及び事業税	95,736	96,451
法人税等調整額	11,977	37,779
法人税等合計	107,713	134,231
四半期純利益	234,932	293,509

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	342,646	427,740
減価償却費	4,993	4,269
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△78,952	△98,290
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	55,519	576
受取利息及び受取配当金	△3,993	△5,048
支払利息	22	23
有形固定資産除却損	22	—
売上債権の増減額 (△は増加)	92,031	△20,358
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,428	1,775
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	1,297	△470
仕入債務の増減額 (△は減少)	△16,892	3,051
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△20,405	△11,984
未払金の増減額 (△は減少)	△14,320	△55,504
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△11,331	△21,902
その他	114	106
小計	352,181	223,984
利息及び配当金の受取額	3,999	5,053
利息の支払額	△44	△48
法人税等の支払額	△88,160	△129,246
営業活動によるキャッシュ・フロー	267,975	99,742
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,300,000	△1,300,000
定期預金の払戻による収入	1,300,000	1,300,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△5,524	△23,634
貸付けによる支出	—	△656
貸付金の回収による収入	1,266	2,966
差入保証金の差入による支出	—	△3,961
その他	△191	108
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,449	△25,178
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△127,868	△139,276
財務活動によるキャッシュ・フロー	△127,868	△139,276
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	135,658	△64,712
現金及び現金同等物の期首残高	2,993,754	3,397,891
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,129,412	3,333,179

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期損益計算書計上額(注)2
	ソフトウェア開発事業	BPO事業	合計		
売上高					
SEサービス	2,762,979	63,964	2,826,943	—	2,826,943
受注制作	290,728	—	290,728	—	290,728
計	3,053,707	63,964	3,117,672	—	3,117,672
セグメント利益	545,160	5,843	551,003	△213,782	337,220

(注) 1. セグメント利益の調整額△213,782千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期損益計算書計上額(注)2
	ソフトウェア開発事業	BPO事業	合計		
売上高					
SEサービス	2,983,374	65,763	3,049,138	—	3,049,138
受注制作	351,150	—	351,150	—	351,150
計	3,334,524	65,763	3,400,288	—	3,400,288
セグメント利益	626,719	4,930	631,650	△211,151	420,498

(注) 1. セグメント利益の調整額△211,151千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。